

令和7年度 事業計画

令和7年度は昭和40年に法人としての京都産業会館が設立されて60年目に当たる節目の年である。

京都市と社団法人京都織物商協会、財団法人京都染織会館の三者が協力して、我が国有数の染織品の集散地である京都・室町の地に、染織業界並びに地場産業の発展、市民生活の向上のために、展示場、ホール、会議室、バスターミナル等を備えた複合施設となる京都産業会館を建設し、その運営のための法人として社団法人京都産業会館が設立されたのが、遡ること60年前、昭和40年11月のことである。

現存する資料や写真からも、往時の関係者の熱意や高揚感が伝わってくるが、この60年間、京都産業会館の発展にご尽力、ご協力いただいた京都市をはじめ京都産業会館役員や会員の皆様、ご利用者の皆様、関連団体・企業の皆様に改めて敬意と感謝を申し上げる次第である。

会館の建設以来、50有余年、京都産業会館は多くの企業や団体等の皆様にご利用いただいていたが、老朽化による建物の劣化が著しく、これを解体し新たな施設を建設することとなり、京都の経済団体等が結集し平成31年3月には京都経済センターが誕生、京都産業会館は同センター内に引き続き展示場(ホール)を保有、運営するとともに、経済センターの管理組合管理者として建物全体の管理という重責も担うこととなった。

経済センターがオープンして初年度は産業会館ホールも順調な滑り出しを見せたが、翌年からはコロナ禍に見舞われホールのご利用も大きく落ち込んだ。コロナ禍から回復した令和4年度以降は比較的安定的な運営を行えているが、令和7年度についてはホールの一層のご利用拡大を目指すとともに、今理事会において議案として上程している京都染織会館との合併を実現させ、次の10年に向けて更なる飛躍を図る記念すべき年としたい。

1 公益法人としての取組み

地域経済の発展と市民生活の向上に寄与するため、当法人の基幹事業である京都産業会館ホールの提供を行うとともに、公益事業として京都織物卸商業組合や京都市が実施される各種事業への支援等を行う。

(1) 京都市との連携事業

・中高生のきもの着付け体験の実施

京都市が中心となって毎年3月に実施されている中学生・高校生等を対象とした「きもの着付け体験イベント」(伝統産業の日関連事業)に対して、令和7年度も引き続き支援を行う。

(2) 地場産業振興事業

・「京都きものオーディション事業」等への支援

京都織物卸商業組合等が実施する「京都きものオーディション(京都・ミスきもの選考会)事業」及び「和装通過儀礼事業」(十三まいり、七五三詣り)、「きもの文化検定」に対して資金助成を行う。

・京都学生デザインコンペ事業の終了

京都学生デザインコンペ事業については、京都の和装産業の振興、きもの・帯の制作に携わる人材の育成、学生のまち京都の推進に寄与することを目的に、京都市内の芸術系の大学生等からきものや帯のデザインを募集するというユニークな取組で、平成24年度から開始、途中コロナ禍で3年間の休止があったものの、令和6年度までに10回の開催を重ねてきた。

とりわけ、令和5年度からは事務局機能を(公社)京都デザイン協会に委託することで、より効率的、効果的な運営を図ることができた。

そうした中、今般、(公社)京都デザイン協会から令和7年度以降のデザインコンペ業務の受託を辞退したいとの申し出があった。現状では産業会館単独での実施は困難な状況であり、また、これまでの13年間、10回の開催を通じて、所期の目的は一定達成されたと判断されることから、令和6年度をもって本事業を終了することとしたい。

なお、本理事会に議案として上程しているとおり、令和8年度から京都染織会館との合併を計画していることを踏まえ、今後については新たな人材育成事業等に着手することとしたい。

2 法人運営の安定を図るための取組み

当法人の収入の大部分を占めるホール使用料収入の向上を図るため、令和7年度は過去最高であった令和5年度のホール稼働率を上回る成績を上げられるよう努力する。

具体的には、事務局職員のボトムアップによる取組である「稼働率向上プロジェクト(別紙参照)」をアップデートしつつ、着実に進めるとともに、新規分野の催事、とりわけ学会や各企業の入社式、社員総会等の誘致にも努める。

さらに、閑散期対策として、ゴールデンウィークやお盆休み等の期間と、月曜日、

火曜日といった週前半の稼働を高めるために、主催者情報の収集も含めた営業活動に取り組んでいく。

3 「京都経済センタービル管理組合」管理者としての取組み

「京都経済センタービル管理組合」の管理者として、経済センターの入居者及び来館者に安全・安心・快適に過ごしていただけるよう、区分所有者間で情報を共有し、連携して課題解決に取り組んでいく。

4 京都産業会館設立60周年記念事業

(1) 記念式典・祝賀会の開催

令和7年10月に市内ホテルにおいて記念式典及び祝賀会を開催し、日頃お世話になっている関係団体・企業の皆様並びにホールご利用団体・企業の皆様等と一緒に設立60周年をお祝いする。

(1) ご招待者 役員・会員、国会・地方議員、行政関係、友好団体、取引先企業、ホールご利用団体・企業 など

(2) 想定参加人数 100名～150名

(2) 和装振興イベントの開催

きものの着用機会となるイベントを開催することにより、消費者のきものや帯等の購入を促進する。

(1) 開催時期 令和7年10月または令和8年3月（予定）

(2) 開催場所 世界文化遺産 醍醐寺（予定）

(3) 催事内容 お茶会、点心、写真撮影会、ステージショーなど

(4) 参加人数 500人

(3) 一般財団法人京都染織会館との合併（別掲）

(4) 予算

記念式典・祝賀会	5,000 千円
和装振興イベント	8,000 千円
計	13,000 千円

（参考）過去の周年事業支出経費

40 周年 9,925 千円（記念式典・祝賀会、記念パンフレット）

50 周年 13,407 千円（記念式典・祝賀会）